

月間火山概況発表にあわせた火山の状況に関する解説情報の発表について

気象庁では、毎月上旬に前月 1 ヶ月間の火山活動の状況や予報警報事項の解説を取りまとめ、月間火山概況として発表しています。2008 年 1 月からは、これに加えて月間火山概況で取りまとめた最新の活動状況と噴火警報及び噴火予報の発表状況を、火山の状況に関する解説情報で発表することにしました。なお、発表は気象庁地震火山部から行います。

火山の状況に関する解説情報の形式例

火山名 全国の活火山 火山の状況に関する解説情報 第 1 号

平成 20 年 1 月 9 日 16 時 00 分

気象庁地震火山部

本日、全国の活火山の活動状況や予報警報事項を取りまとめた全国月間火山概況を発表しました。その概要は以下のとおりです。詳しくは月間火山概況及び火山活動解説資料を参照ください。

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

いずれの火山も、活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。現在の各火山の噴火警報、噴火予報の発表状況は以下のとおりです。

噴火警報発表火山

三宅島 [火口周辺警報 (火口周辺危険)]

硫黄島 [火口周辺警報 (火口周辺危険)]

福德岡ノ場 [噴火警報 (周辺海域) (周辺海域警戒)]

桜島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

薩摩硫黄島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

口永良部島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

諏訪之瀬島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

噴火予報発表火山 (噴火警戒レベル導入火山)

樽前山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

北海道駒ヶ岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

岩手山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

吾妻山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

草津白根山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

浅間山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

富士山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

伊豆大島 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

九重山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

阿蘇山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

雲仙岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

霧島山 (御鉢) [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

霧島山 (新燃岳) [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

噴火予報発表火山 (噴火警戒レベル未導入火山)

上記以外の活火山 (注) [噴火予報 (平常)]

(注) 上記以外の活火山は以下のとおり

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、雌阿寒岳、丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、恵庭岳、倶多楽、有珠山、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳、那須岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、御嶽山、白山、箱根山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指白岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

2. 防災上の警戒事項等

いずれの火山も、防災上の警戒事項等に変更はありません。

噴火警報及び噴火予報について

噴火警戒レベル導入火山

予報及び警報の別	対象範囲を付した噴火警報の名称	略称	対象範囲	レベル (警戒事項等)	発表基準等
噴火警報	噴火警報(居住地域)	噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫している状態と予想される場合
				レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まってきていると予想される場合
	噴火警報(火口周辺)	火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生すると予想される場合(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)
				レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想される場合(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)
噴火予報			火口内等	レベル1 (平常)	火山活動は静穏 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)

注)「警戒事項等」は、「キーワード」という名称を用いることができる。

噴火警戒レベル未導入の火山(海底火山を除く。)

予報及び警報の別	対象範囲を付した警報の呼び方	略称	対象範囲	警戒事項等	発表基準等
噴火警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報(山麓)	噴火警報	居住地域及びそれより火口側	居住地域 嚴重警戒 又は山麓 嚴重警戒	居住地域又は山麓に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まってきていると予想される場合
				入山危険	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生すると予想される場合(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)
	噴火警報(火口周辺)	火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	火口周辺危険	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想される場合(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)
噴火予報			火口内等	平常	火山活動は静穏 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(対象範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)

* 居住地域が不明確な場合は山麓と記載

注)「警戒事項等」は、「キーワード」という名称を用いることができる。

海底火山

予報及び警報の別	対象範囲を付した警報の呼び方	対象範囲	警戒事項等	発表基準等
噴火警報	噴火警報(周辺海域)	周辺海域	周辺海域警戒	海底火山の周辺海域に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想される場合
噴火予報		直上	平常	火山活動は静穏 火山活動の状態によって、変色水等が見られることがある

注)「警戒事項等」は、「キーワード」という名称を用いることができる。

火山現象に関する情報について

火山現象に関する情報の種類	発表と内容
火山の状況に関する解説情報	<p>以下の場合に適時発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細な観測の成果等の状況を防災関係機関等に周知する必要がある場合 ・ 防災関係機関から要望等があり、必要と認めた場合 ・ 火山噴火予知連絡会の噴火に関する火山活動の総合判断に基づく場合 ・ 全国月間火山概況を取りまとめた場合 <p>火山活動が活発な場合等、火山性地震や微動回数及び噴火等の状況について、噴火警戒レベルや火山活動の評価が変更されたとの誤解を与えないように火山の状況を知らせる情報</p>
火山活動解説資料	定期または必要に応じて発表。防災活動等の利用に適合するように火山観測の成果等を編集した資料
週間火山概況	毎週金曜日に発表。過去1週間の全国の火山活動の状況及びその解説を取りまとめた資料
月間火山概況	毎月上旬に発表。「管内月間火山概況」と「全国月間火山概況」があり、「管内月間火山概況」は気象庁本庁及び管区气象台が担当区域の前月1ヶ月の火山活動の状況及びその解説を取りまとめた資料。「全国月間火山概況」は管内月間火山概況を集約したもの

噴火警戒レベル

噴火警戒レベルは、火山活動の状況について、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえて区分し、警戒を呼びかけるもので、この活用にあたっては以下の点に留意する必要がある。

- ・火山の状況によっては、異常が観測されずに噴火する場合もあり、レベルの発表が必ずしも段階を追って順番通りになるとは限らない(下がる時と同様)。
- ・各レベルで想定する火山活動の状況及び噴火時等の防災対応に係る対象地域や具体的な対応方法は、地域により異なる。
- ・降雨時の土石流等レベル表の対象外の現象についても注意が必要であり、その場合には大雨情報等の情報にも注意する必要がある。

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	説 明		
			火山活動の状況	住民等の行動(1)	登山者・入山者等への対応(1)
噴火 警報	居住地域 及びそれ より火口 側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域(2)からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)	
		レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域(2)での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)	
火口 周辺 警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常的生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等	登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)
	火口 周辺	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。		火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)
噴火 予報	火口内等	レベル1 (平常)	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常的生活	特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)

1: 住民等の主な行動と登山者・入山者への対応には、代表的なものを記載。

2: 避難または避難準備の対象として地域防災計画等に定められた地域。ただし、火山活動の状況によって具体的な対象地域はあらかじめ定められた地域とは異なることがある。

注: 表で記載している「火口」は、噴火が想定される火口あるいはそれらが出現しうる領域(火口出現領域)を意味する。伊豆東部火山群のように、あらかじめ噴火場所(地域)を特定できないものは、地震活動域を火口領域と想定して対応。